

平成 21 年度第 1 回宮前区区民会議 公園・地域づくり部会摘録

□開催日時 平成 21 年 4 月 22 日（水） 18：15～20：15

□会 場 宮前区役所 4 階第 1 会議室

□参加者 佐藤部会長、久保委員、田邊委員、吉岡委員（以上、公園・地域づくり部会委員 4 名）
永野委員長、川西副委員（以上、オブザーバー 2 名）
岩佐企画課長、成沢主査、鈴木職員（以上、宮前区企画課 3 名）
福田研究員（株式会社シー・エス・ケイ）

□開会

- ・岩佐課長が開会のあいさつをしました。
- ・会議の公開について、委員の了承を得ました。

司会：佐藤部会長

□前回協議事項の確認

- ・事務局が別紙に基づき、前回の議論の内容を確認しました。

□佐藤部会長開会あいさつ

佐藤部会長が開会あいさつをしました。

1 議題

（1）今後のスケジュールと進め方について

事務局が資料 1「今後のスケジュールと進め方について（案）」に基づき、平成 21 年度のスケジュールを説明し、意見交換をしました。

11 月の第 3 回区民会議で報告内容を確認するためには、9 月には議論をまとめる必要があることが確認されました。

佐藤部会長 9 月にまとめて、第 3 回区民会議で報告するとなると、今日を含めてあと 3 回の議論になります。方向性としては決まってきたと感じていますが、この先 2 回では回数が少ないなど、意見があれば聞かせてください。

田邊委員 公園についてだけなら良いと思います。子育てについて、高齢者についての問題まで深めるとなると忙しいです。公園におけるコミュニティだけを考えるならいいでしょう。

佐藤部会長 子育て、高齢者の問題を解決するために公園を活用してコミュニティを活性化する方向でまとめるということでしたので、その点については問題ないと思います。

吉岡委員 あれもこれもと考えると会議の回数ばかり多くなります。まとめの時期が決まったら、そこに向けてまとめる方向で、部会長のリードで進めれば良いと思います。

久保委員 参与との意見交換で、コミュニティを目的にするより、今ある活動をどう活発にするかという意見がありました。コミュニティを上から作りなさいとはいかないので、良い意見だったと思いました。

佐藤部会長 いろいろな団体とのコラボレーションという意見もありましたが、この 2 回では難しいと思います。

永野委員長 コラボレーションは、区民会議の委員が手を振ってやるのではなく、提案の中でコラボできる仕掛けをしないとイケないです。他の団体との連携の仕掛けを工夫すれば、地域の人たちでうまくいくという解決策の提案をまとめないとイケません。今までいろいろ議論したので、大きく3つくらいの骨をつくり解決策として文章化するなら、3回くらいでいいでしょう。区民会議の提案は仕掛けづくりですから、文章の内容でそのあとが変わってきます。11月の全体会で報告内容を確認したら、12月の部会で文章のひとつひとつをチェックする作業ができればいいかなと思います。資料3にあるように、既に具体的な解決策が何個か出ているので、この辺を追加すればよいでしょう。

佐藤部会長 それでは、3回でまとめ、そのあときちんと文章化をします。第3回の全体会で意見をいただき、区長への提言をまとめることにしたいと思います。

(2) 具体的な課題解決策について

事務局が資料2「公園・地域づくりアンケートまとめ」、資料3「宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 議論ペーパー」を説明し、意見交換をしました。

①公園の魅力をアピール

佐藤部会長 前回の内容の説明にもありましたが、掲示板はただ立てるだけでは使われなくなり意味がありません。この提案を見たときに、きちんと使われるのだということがわかる内容にしたいです。区民の立場に立ち、掲示板がどのように使われるのか、目的などが課題の解決に結びつくような公園の魅力をアピールする掲示板になるか、ご意見をいただきます。

田邊委員 掲示板は良いことです。191ある公園で、必要なところと、2、30坪ほどで本当に必要なかということもあります。地域の人が掲示板、情報を発信する物を必要とするのかをつかことがあります。本当に情報発信が必要なら、区民会議の提案としてこういうところに、こういうものを設置してくださいと資料を添えて提出するのも一つの方法でしょう。各公園の管理をする愛護会、管理運営協議会にこちらサイドから提案していくのか。こういう掲示板を作りますと半強制的に言うと、宝の持ち腐れになる可能性もあります。本当に活用できるのか。雑草が鬱蒼としている公園に置いていいのかもありますし、個人的にはその点がどうかと思います。

佐藤部会長 掲示板の必要性については前回確認されました。ただ、持ち腐れにならないためには、どうすればいいかが今日の議論です。吉岡委員の公園にも掲示板がありますね。

吉岡委員 町会の掲示板が3か所あります。誰が管理するのか、それを事前に自治会に相談してからでないと、設置しても難しいでしょう。掲示する内容や終了した情報の撤去を誰かがやらないとイケない。それを事前に相談しないと難しいです。稗原団地の公園は自治会長をはじめ役員で管理組織が構成されており、そこをお願いすればやってくれます。各公園の中でどういう使われ方をしているか、作ろうといっても生かされにくいところも出てきます。

久保委員 区民会議の公園部会について、一般の皆さんは知らないと思います。アンケートをするのに声かけをしたり、公園のことを話そうとしても、初めから説明するには時間がかかります。区民会議が公園を協議していることを一般の人が知らないように、掲示板がぽつんとできて、どこが管理するのとなります。ピンポイントで利用方法が目に見えてわかる、「これが掲示板ね」という例が必要です。第1公園には、少年野球、外遊び広場など公園を活用する団体がありますが、団体と地域の人との交流のために立ちあげましょうなど、例があるといいです。プレイパークの活動紹介、公園体操の開催のお知らせなどの例があり、それを見て、うちの公園にもほしいというイ

メージができるでしょう。提案するのであれば、道筋、例示が必要です。何個を目標としましょう、管理運営協議会が立てましようとするのではないです。いらなところはいらなでしょう。

田邊委員 公園によっては、行政で使う掲示板と自治会が管理する掲示板があります。それに公園用の情報の掲示板が必要なのか疑問があります。第4公園では土曜日にいろいろな活動をしています。それを自治会の掲示板に組み込めばいいでしょう。公園の大きさによっても変わってきます。菅生緑地は場所ごとに活用方法があります。あそこでは掲示板を見たことはないです。広いところで何かをするなら、掲示板が必要かも知れません。

佐藤部会長 前回の確認事項にも、設置する公園の目的、規模、掲示内容の話がありました。公園の大きさもそうですし、維持管理も話が出ていました。維持管理をする団体の組織を作ることも課題にありました。まず、その方がたに運営してもらうのか、自治会に声をかけてやった方が浸透するのか、焦点を絞らないと、掲示板の話だけで時間がつぶれます。

事務局 191か所の公園に設置する予算を提示して作るというイメージではないですよ。そこをきちんと確認していただきたいです。これを提案するにしても、ニーズがないところに設置することはないと思います。誰が求めるのかです。そこがきっちりできれば、たとえば管理運営協議会があり、いろいろな団体が集まって活動している、健康体操をしている、自主保育をしているといった掲示板的な求めがある公園があるでしょう。区民会議として、求めがあるところに掲示するとするのか、もう少し積極的に仕掛けて設置してはどうですかとするのか、そこを確認できればいいと思います。恐らく、無理やりどこもかしこも同じようにということはないでしょう。

吉岡委員 必要に応じて、いいと思います。

永野委員長 今までの議論も、均一に作るのではなく、必要などころに作るという意見でした。その必要な公園を添付資料のような形で10箇所とか提案につけるかどうか。それは予算をつける方で考えればいいのか。必要な箇所とか、多くの団体が使っている公園、地域のメイン公園、その辺をどう表現して提案をするのかでしょう。とりあえずそういうところから初めてもらえばいいでしょう。

田邊委員 自治会が管理しているところを探すのは大変です。その前提が管理運営協議会というきちんとした団体があります。愛護会ですと少し小さいです。愛護会で必要としている場合があるかも知れません。まず、公園の管理運営協議会は70数か所ありますが、そこにピンポイントを置き、希望するかしないのかを聞くことから足がかりを作るのがよいのではないですか。自治会になると大変です。わたしのところは自治会で管理していますが、行政の掲示板、自治会の掲示板があるので、3つも必要ないです。管理運営協議会のある公園にアプローチをかけるのが一つの足がかりかと思います。

事務局 アプローチをかけるというのが、必要に応じてなのか、作りませんか働きかけるのかです。

田邊委員 働きかけるということです。

久保委員 作りませんかというのは、いろいろな人に公平に働きかけてほしいです。一般の人でここにほしいという人がいるかも知れないので、そうなった時に、管理運営協議会などに話をし、ここで作りたいとなることもあると思います。管理運営協議会だけにしか声をかけないとなるよりも、広く機会を与えるのがよいです。もちろん、立てるには条件があります。コミュニティとしての機能を果たせるかどうかなどありますよね。ほしいといってもダメな場合もあるわけです。

永野委員長 公園に掲示板を立てましようという提案はしたいわけです。どこに立てるかは、必要に応じてです。その必要の中身を文章化しないといけないでしょう。いろいろな団体があり利用が活

発に行われている公園、イベントが盛んで情報発信をしたい公園など、そういうところから順番に作るということでしょう。掲示板を設置する公園の議論と管理の議論は、別の視点から発想しないといけないです。優先したいのは、公園管理運営協議会でしょう。それが自治会と重なってれば問題ないです。管理運営はそこが担うのが一番良いでしょう。

田邊委員 管理運営協議会は必ず自治会を組み入れるようにという文章が入っていたと記憶します。

佐藤部会長 掲示板の設置の広がり方を投げたときに、公園体操などは積極的にアピールして広がったのですか、ニーズがあって広がったのですか。

事務局 区民会議がはじまったころは8か所でした。地域包括支援センターができて、健康のためにやりましょうということで広がっていきました。おおもとの人がいたから広がりました。なかなかそういう人がいないと、自然発生的には広がるのは難しいでしょう。

佐藤部会長 管理運営協議会だけでなく、議論の中でその団体さえも知らない人が多かったですし、仕事の内容も定着していないことが多かったので、区民に広報紙で呼びかけることも可能ですか。

事務局 可能です。公園事務所がどういう団体が使っているかを把握しています。その時に、相対してやってみてはいかがですかと声かけをすることもあるかも知れません。管理運営協議会や愛護会の集まりは年に2回ほどあり、そこで呼びかけることも可能ですが、相対で話をすることも可能です。

佐藤部会長 今まで管理をしてくれた方々が知らない間に設置されるのも失礼かと思います。そちらはきちんと説明をしていく方法と、ある程度決まったところ、活動が多いところには呼びかけをした方がいいかと思います。小さい公園についても触れた方がよいかと思います。区民に呼びかけたときに、手をあげて設置したあとに管理ができなくなるのも困るので、こちらで規模を決めるのもまずいでしょうか。文章に盛り込むのは公平性に欠けますか。

永野委員長 提案に細かく書く必要はなく、それは行政が予算をつけるときに考えればいいです。ただ、どういう要望のところにつけて欲しいということ。本当に小さな公園でも愛護会などを作りきちんと手入れしているところもあります。希望があったときに、どういうルートで希望すればつく可能性があるとしておけばいいです。この区民会議で、こういうところはつける、つけないと決める必要はないです。

佐藤部会長 設置するにはこういう目的があって、その目的に合う公園には、募集をかけて広げていったらどうかということまででいいんですね。

事務局 まだ時間があるなら、どういうことならばということ。営利活動はまずいでしょうし、どういう活動なら掲示板に乗せられるかなどを提案に盛り込まれるといいかと思います。

コンサルタント 行政の掲示板や自治会の掲示板があるのでそういう公園にはいないという意見もありましたが、そこに載せてはいけない情報などもありますよね。だから公園の情報を発信する掲示板が欲しいんだということもあるかも知れません。どういう情報を掲示する、どういう活用をするために掲示板が必要なのか、そういう活用をしたい公園であれば、きちんと管理ができるなら、規模などは関係ないでしょう。

永野委員長 町会の掲示板は、町会長が判子を押せば掲示できます。公共的なものなので、小さな活動団体があって貼らせて欲しいとやってきても、グループのお知らせ的なものは無理です。公園を使う団体がちょこちょことした活動をお知らせするための掲示板が必要だと思います。

事務局 そうなると、管理運営協議会の本来の設置目的の一つである地域コミュニティの活性化ですね。設置主体が地域コミュニティの活性化をしていかないといけないと思っている公園には、どんど

んやってほしいということでしょうか。自分たちの活動ではなく、協議会のメンバーでなくても、公園を使う行事であれば掲示してくださいということですね。

田邊委員 自治会の掲示板は管理運営協議会の中で、営利を目的としたもの、政治、宗教的なものはやめてくださいとうたっています。いろいろなことを決めてしまうと、狭まります。

永野委員長 公園掲示板を設置したいのは、小さなグループが貼れる掲示板であってほしい、小さな情報でコミュニティに役立つものが貼れると考えればいいでしょう。管理運営協議会に利用者を取り込んで活性化させる提案をしないとけないです。そうしないと、管理運営協議会が掃除や管理ばかりになります。

久保委員 掲示板を使っていいかわりに、管理運営協議会に参加しましょう。そこでまたコミュニケーションができると、新たな活動にふくらみますね。

永野委員長 そういう掲示板を立てるにあたり、トイレを要望するときには地域合意をしろという条件があります。掲示板も地域合意をしろという条件をつけてもいいでしょう。自分たちでこう使いたいという地域合意をしたものを申請書で出させる。

佐藤部会長 合意をとるのは大変な労力です。子育てグループなどは自分たちが数時間遊べればいいのに、そこまでしてまで、となりかねない心配もあります。もう少し緩やかでいいかなと思います。利用者を取り込み、一緒に管理運営にかかわっていける団体であれば、掲示板を使っていいとすれば、管理の負担も軽減されます。ある程度行政のチェックは必要です。最初だけでも、掲示板の必要性があり団体が決まっていればそれを記入してもらおう。合意までとるとなると、ハードルが高い気がします。

永野委員長 合意というのはこれから決めればいいのですが、たとえばその公園を使っている団体がいくつかあれば、そこを使っている団体には掲示板をつくることを連絡し、同意を得ないといけません。そういったことを母親グループができなければ、ほかの利用者に協力をお願いすればいいでしょう。10使っている団体がいて、その中で5つくらいの同意書が申請されれば、行政は動くかもしれません。すべてがなければ認めないということではないでしょう。掲示板を作るための流れのルールは何ともしないと、どこにでもできるわけではないでしょう。

吉岡委員 同意書を書いてもらうのは大変です。要望がありますということでもいいでしょう。地域全体が同意しますという同意書でなくてもいいです。あまり厳格にしてしまうと難しいです。

田邊委員 トイレは確かに合意が必要です。付帯的な管理や清掃などいろいろでできます。掲示板については、そこまで必要かという気がします。

永野委員長 前年度に、区内にいくつの掲示板をつくるかを予算化します。そのためには、何らかのルールでここに立てようということを決めるのだと思います。そのルールの流れを想定しておかないと、手をあげれば設置するということにはなりません。

佐藤部会長 行政のできる範囲、ある程度の方針ではないですが、どこまで提案すればいいのでしょうか。

事務局 どういう目的のために、必要なときには掲示板を立てられるようにしますということでもいいでしょう。コミュニティであるとか、非営利・非宗教・非政治であるなど、予算をつけるときには行政も考えないといけません。こういう目的のためというところがはっきりしていればいいと思います。行政の立場からすると、スケジュール管理が必要になります。掲示物のサイズや期間までルールを決めないといけないので、そういうことが果たしてできますかということが気になります。壊れたときの修理の問題もあります。そこはともかく、今の提案では、目的をはっきりさせておくことと、無理に立てることはしないということでもいいと思います。

久保委員 管理運営協議会も担い手がいないなどあるので、掲示板を利用することで、公園の利用者と、目に見える継続的な関係が持てれば、次の担い手になるでしょう。そういうこともアピールすれば、管理運営協議会が団体に声をかけて活性化する仕組みができるかもしれません。

事務局 今まで草刈しかしなかったのを一緒にイベントしてみようなど、管理運営協議会がチラシをまくのは大変ですから、そういった使い方もできますね。

永野委員長 公園利用の活性化のために、公園に掲示板を設置したらよいという提案でいいでしょう。

事務局 管理、運営主体をはっきりさせることが必要ですくらいは書かないといけません。

永野委員長 維持管理、運営の担い手組織をしっかりとすることでしょう。

佐藤部会長 最終確認をとります。掲示板については、地域コミュニティを活性化するために、管理運営協議会などを活性化するためのきっかけづくりであったり、団体が混在しているけれども地域コミュニティを広げるための目的、知らない人への地域情報の発信のために掲示板を設置する。維持管理はある程度の基準を決めて掲示板の設置に向けて動くということを提案する形でいいですね。これは決定ということで、文章作りに向けて動きます。

その他の情報発信ということでホームページの活用も進めていいですね。

事務局 宮前区にはぼーたろーがあるので、もっと活用し区民全体で盛り上げるのがいいと思います。

佐藤部会長 ホームページは 24 時間いつでも見れますし、普段公園に行かない人でも目がいくツールの一つですので、公園の魅力を情報を発信するツールとして提案したいと思います。

事務局 とことこにも公園が載っています。そこにお母さんたちから意見が書かれ、それも大事な情報ですが、コミュニティという視点でとことこに盛り込むのも大事かと思います。

佐藤部会長 とことこはこどもに特化した公園の情報ですが、公園体操などの情報もその中から沸きあがり、コミュニティの情報として求められたときには提供することはできますね。

事務局 ハードだけでなくコミュニティの使われ方みたいな点も盛り込むといいのかと思います。

②コミュニティのきっかけづくり

佐藤部会長 説明があったようにまず公園に目を向けてもらうものと、日常的に利用できる仕掛けの二つに分かれますね。公園に目を向けてもらうための活動ということで、例があがっています。

吉岡委員 子ども向けの体操などはしていますが、年間を通しては体操をしていません。体操の先生が停年になったので、教えてもらうことを考えています。太極拳も希望がありやろうと考えています。体操を重点に行っていきたいと思います。1、2年をめどに作っていきます。

久保委員 中学生の映像コンテストがありましたが、若い力を活用したいですね。

永野委員長 既存のイベントはいろいろやっています。既存のイベントの情報をどう発信し団体とネットワークするのかという問題と、既存のイベントだけではダメなので新しいスタンプラリーや写真コンテストをどう開催するのかの 2 種類があると思います。既存のものを利用して活性化する方法が提案できるといいです。私も青少年指導委員会の主催でやる形ですが、もっと広がりをもってできるものがあるといいです。

佐藤部会長 青少年のイベントはどんなものですか。

永野委員長 大きくやっているのは、宮前の 4 地区からウォーキングをしながら一箇所の大きな公園に集まります。その公園で 4 地区から持ち寄ったあそびをみんなでします。お弁当を食べ、時間が来たら 4 つの地域に歩いて帰ります。地域を歩きながら、いろいろなことを発見し、遊んで帰ります。こども会と中心としたものや町会では盆踊りをします。年間を通して大きなイベントはや

っていると思います。いろいろな団体と合同で何かできるといいです。

田邊委員 青少年の4つの地区は学校区ですか。青少年指導員は町会自治会から推薦されています。

永野委員長 だいたいそれに近いです。

田邊委員 年に3回公園清掃をしています。マンネリ化しているので、プラスアルファの何かをしようという話がでています。共通の団体、社会福祉協議会、民生委員、中学校区など、共通の団体でやった方がいいのかなという感じはしています。公園清掃がよくなったのは、お父さんお母さんと一緒に子どもがきます。ただ清掃をしてもらうだけでなく、清掃が終わった次に何をするかを思案中です。

佐藤部会長 ウォークラリーはいいなと思いました。小学校の頃に楽しかった思い出があります。一つの目標に向かって集まるのは楽しいです。宮前区に長く住んでいますが、最近になって野川のことを知ったということもあるので、各地から集まり、顔を合わせ、遊びを学ぶのはいいことです。年配の方が子どもに教えれば、コミュニティを図るきっかけになります。公園に目を向けるイベントとしては、そういうこともいいと思います。

永野委員長 宮前地区でスターとし、今度は向ヶ丘地区でも始めます。昔は運動会をしていましたが、マンネリ化しているので、ディスカバーウォーク宮前をは始めました。宮前のスポーツフェスティバル実施委員会から金が下りています。

久保委員 見過ごされそうな小さな公園も地区で回ると楽しいでしょう。

永野委員長 誰でも参加できます。坂や階段を昇るので、小さな子どもと高齢者は付添をつけてもらいます。ペットの同伴は避けてくれということです。どう広報するかが難しいです。子ども会を通して募集するので一般の人は来れませんが、ウォーキングなので団地の高齢者も数人は参加します。350人くらいが参加します。子ども会と青少年指導委員会が必ず付きます。そういったことを、いくつかの公園で回ることができればいいですね。

佐藤部会長 小さい子と高齢者も地域の公園に集まれます。近くの公園であれば、幼児やお母さんもつれていけます。宮前区民は公園を親しむためにみんなで集まりましょう、公園の日ではないですが、そういうことができるといいです。

コンサルタント 議論ペーパーの具体的な課題解決策の中にはないですが、川西委員が以前おっしゃった、「宮前区は公園でいくんだ！」といったアピールが前段階にあり、それに合わせて、公園の日といったものを設定できるといいですね。

永野委員長 そういう日を設定すれば声をかけやすいし、団体も参加しやすいでしょう。

佐藤部会長 小さい公園でもいいと思います。

事務局 統一美化が9月、10月にあります。その時に掃除だけに終わらせずイベントをかますこともあると思います。

佐藤部会長 ニュースで、どこかの川であひるのレースをしながらゴミを拾うというのを見ました。掃除との組み合わせを意図的にすれば、公園に目が向くし良いですね。既存の団体にはノウハウもあるし、良いと思います。

永野委員長 公園遊びの日を設けるといいと思います。

佐藤部会長 アピールの仕方もしやすいですね。若者は部活動などがあって参加しづらいですが、携帯を持っているので写メで撮影して写真コンテストに送れるようにすると、簡単に参加でき、公園に目が向きます。まちづくり協議会の写真コンテストに合わせて期限をきめれば実行するにも簡単です。写真をぽーたろーに載せるなど、自分の作品がホームページに載るのはうれしいです。

そのあと活用し、みんなに見てもらおうようにすればいいです。

田邊委員 それはいい方法だと思います。携帯をフルに活用し、それをぼーたろーに送ったり、市民館に掲示する。落書きが書いてある写真を見れば、大人がこういうことをしてはいけないという啓蒙にもなるでしょう。

佐藤部会長 携帯もいい、デジカメもいい、カメラでもいいと広げてやるといいでしょう。小学校の部、幼稚園の部などつくれば、いろいろな人が参加でき、浸透して、公園に目を向けるきっかけになるとおもいます。スタンプラリーも公園の日を作り、来てもらうならカバーできると思います。いくつも挙げると大変になるので、焦点を絞ってやるのがいいと思います。

田邊委員 高校生から下は写真コンテスト。スタンプラリーもいいですが、関与する人が多くなり、組織づくりがどうなるのかと思います。写真コンテストや公園体操などからやっていくと良いでしょう。若い世代から高齢者まで両方が参加できます。とっかかりになるものが良いです。公園の写真に掲示することで知るでしょうし、親もわかります。

川西委員 防災の避難所訓練を休みの日に各公園で実施します。それとスタンプラリーを一緒にすれば、町会の人や防災の人が出ていますから、人の心配はないです。スタンプを押しながら避難所に来れば、そんなに負担にはなりません。

参与との会合の席で紹介した、教育談義カードができました。いろいろな設問があり、「隣接する公園にトイレを設置することに賛成か反対か」、「幼児が遊んでいるところで小学生中学生のグループがサッカーやバッティングをすることを注意するかしないか」など、中には公園からみの設問がいくつかあります。公園がどんなもので、どんな人たちが遊ぶのを受け入れられるか、られないか。それによって、自分たちがどう動くのかという教育談義がテーマに入っています。こども支援室にも置きますので、小さなグループでいろいろなところをご利用いただければと思います。公園の設問だけをピックアップしても面白いと思いますし、意識喚起になるかと思っています。

佐藤部会長 イベントの実施をまとめたいと思います。フォトコンテストとディスカバーウォークを使い公園の日を作らないかと、防災の日の話が入ってきましたが、どう思いますか。

吉岡委員 いいと思います。区民会議として何種類かを提起すればいいです。必ずやってもらうことではないので、いいと思います。

永野委員長 これはこれで、公園に目を向けてもらうためのイベントの実施ということでいいか、もう少しつけ加えるかですね。今の防災訓練と一体化させるみたいなものです。

佐藤部会長 いくつかあげるとして、提案の中から選んでもらう型が取組やすいのか、これにはこういう必要性があり普及効果があるからこれがいいとポイントを絞った方がいいですか。

事務局 後者です。たくさん提案をしていただいて、できないものはできないとはっきり言いますが説明責任があるので、実現可能なものを出してもらった方がいいです。たとえばディスカバーウォークをもっと公園に目を向けるように少し変えてみるとか、写真コンテストとウォークを一緒にやるなどいろいろあると思います。今日ここで結論をださなくても結構です。

久保委員 プレーパークがここに入ってますが、既存の活動を応援するような形の提案で、それをコミュニティのきっかけづくりにするということなので、せっかくプレーパークの運営支援要綱があるので、三番目あたりにプレーパークの事例を入れていただけるといいです。

永野委員長 プレイパークは独立さえてもいいですね。

事務局 横浜は、公園を単純にハードの面倒だけでなく、ソフト面、コミュニティに着目して公園を活用する組織になっています。川崎市はまだそこまで行ってません。頭ではわかっているけど、実態

がついていっていません。実際に前田さんがおっしゃるには、有馬ふるさと公園の取り組みが横浜に行ったということですので、発祥の地といってもいいと思いますので、プライドを持ってできるといいと思います。横浜のホームページを見ると、老若男女がかかわっていていいです。

久保委員 若い人がかかわっているのいいですね。

永野委員長 アンケートにも火を使いたいなどありましたし、実現するにはプレーパークとして整理した中でできた方がいいかも知れませんね。

事務局 有馬はお金はどうしているのですか。

久保委員 いろいろなところから助成金を集めています。プレイリーダーを雇った時代もありました。

永野委員長 羽根木のプレーパークが最初ですね。

佐藤部会長 プレーパークは親子というイメージです。子どもが大きくなっても、自分だけで行きたいというのがあります。そういう人がいるのかどうか、40代、50代になっても、子どもとかかわりたい人もいると思うので、地域の大人として子どもを見守る観点からかかわることができると思います。

事務局 運営費が川崎市にはないので、一定の条件を満たしている団体には一定のことをしてもらう仕組がひとつ、団体の事業提案制度があるので、それを活用してもらいます。新たに始めるなら、何らかの相談に乗れるかと思います。

川西委員 成人のプレイリーダーでなくても、ボーイスカウトの人などが参加できるといいですね。

佐藤部会長 時間も過ぎたので、次回、プレーパークのこと、日常的に公園を利用できる仕掛けづくりについて議論できればと思います。吉岡委員から体操の話などもあったので、そこも含めて煮詰めていければと思います。

今日の確認です。公園の魅力アピールでは、地域コミュニティのために掲示板が必要で、そのための掲示板という理解の上で、運営にかかわってくれる方に声をかけ、PR方法を考え活用してもらいます。インターネット、ぼーたろーを使って情報発信をし、公園の魅力のアピールします。そういうことで、公園の魅力アピールは枠組みが決まりました。コミュニティのきっかけづくりは公園の日ということで、既存のものを使いできるというのではないかと。写真コンテストはまちづくり協議会がやっているの、プラスアルファで年齢層を広げられるといいです。

今回はプレーパーク、体操のこと、日常的に公園を利用できる仕掛けづくり、できれば維持管理・運営の担い手・組織のことまで意見交換ができると思います。

事務局 事務局でも、プレイパーク要綱について、もう少し調べて情報を集めたいと思います。

永野委員長 次回、前田さんに来てもらったらどうでしょう。

事務局 プレーパークは、うまくいけばひとつの目玉になるかと思います。

2 その他

- ・今日の意見は5月29日の全体会で報告します。
- ・次回は、6月23日（火）6時15分開催 会場 保健所集団室の予定。
- ・歳時記みやまえは、2か月ごとの情報を掲載します。情報を募集中です。
- ・第2回全体会は、8月4日（火）に開催予定。会場は生涯学習支援施設の会議室で開催する。

口閉会